

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	びわこ成蹊スポーツ大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ビワコセイケイスポーツダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ実習
	学部・研究科等名	スポーツ学部
	担当教職員名・役職	藤松典子教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	320
	受入企業等数	241
	受入企業等名	株式会社京都パープルサンガ、株式会社滋賀レイクスターズ、公益財団法人滋賀県体育協会、大阪YMCA、株式会社滋賀ユナイテッド、株式会社ヒマラヤ 等
	インターンシップの分類	6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	スポーツ関連の企業等において、自身の専攻領域に関する理解を深められるよう、自身の目的意識に基づき、就業体験を実施する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,4.当該インターンシップは、必修科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	必修科目として3年次生を対象に、事前・事後指導を授業期間中に、就業体験を夏期(冬期・春期)休業期間中に実施している。本科目では高度な専門知識と実践的な技能を備えた「職業人」の養成を目指している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全4回の事前指導の中でインターンシップ実習の趣旨や目的の理解(第1回)、実習現場についての理解(第2回)、社会人マナーについての講義(第3回)、実習における目標の設定(第4回)を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前指導において設定した目標がどの程度達成できたかを振り返り、レポートの作成等を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習中に担当教員が実習先を訪問し、実習状況の確認や学生への指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前事後指導内でのレポート作成を通じ、意識・行動の変容について確認を行っている。また、実習の振り返りによるレポートの作成を通じた、今後の大学教育への動機づけを行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	複数の企業等を合わせる場合、一つの実習先につき実施期間5日間以上、合計10日間以上
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	

	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	各実習先において原則10日間以上の実施期間としている。また、複数の企業等を合わせる場合は一つの実習先につき実施期間5日間以上、合計10日間以上としている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入れ企業に実習終了後、「実習評価報告書」を提出いただくようお願いしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://biwako-seikei.jp/
問い合わせ先	大学等名	びわこ成蹊スポーツ大学
	担当部署名	教務課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	077-596-8420
	メールアドレス	kyo@bss.ac.jp